令和4年度

【様式１】

“点在する知”の融合促進による新たな知（シーズ）の創出推進事業

提案書

令和　年　月　日

|  |  |
| --- | --- |
| 研究タイトル（研究キーワード） | 研究タイトル（キーワード　最大５つ） |
| 提案者（研究代表者） |
| 研究者名 | （フリガナ）xx xx（氏　　名）●●　●● |
| 職名 | ●●● | 部局名 | ●●● |
| 研究のバックグラウンド（130字以内） |  |
| 連携研究者 |
| 研究者名 | （フリガナ）xx xx（氏　　名）●●　●● |
| 職名 | ●●● | 部局名 | ●●● |
| 研究のバックグラウンド（130字以内） |  |
| 申請金額（円） | ●●●●円（内訳）研究代表者　　　　　　円　　　　連携研究者　　　　　　円 |

１．本研究によって解決したい社会ニーズ及び研究開発動向等

＊申請書は表紙を含めて最大４ページに収まるように記載してください。

＊必要に応じて図表を含めてください。

＊フォントサイズは11~10.5ポイントです。なお提出時には青字を削除してください。

本研究がターゲットとする社会ニーズ、技術的課題とそれに対する社会動向・企業動向・技術動向等を具体的な企業名を示しながら記述してください。

２．本研究における連携研究者の役割・連携の意義

連携による“知の融合”の必要性・意義について、既存技術と比較して本研究成果（新しい技術）が優位であると期待される点を含めながら記述してください。

３．当該社会ニーズの解決に向けて本事業で取り組む研究内容・計画

本事業で何をどこまで実施し、どのように連携研究者の技術（知）を融合させるのかを踏まえて研究内容・計画を記述してください。

４．本研究成果として期待される新しい技術の概要と企業連携・実用化の可能性

本研究成果（新たな研究シーズ）の概要とその実用化可能性を、当該シーズに関心が高いと想定できる具体的な企業名を明記しながら、本事業終了後の取り組み計画として記述してください。

また本研究で見込まれる知財の概要や出願時期について記述して下さい。